

一緒に立正大学ラグビー部を
応援しませんか?
ご興味のある方は立正大学総務課まで
ご連絡ください!

立正大学総務課
☎048-536-6010
〒360-0194 埼玉県熊谷市万吉 1700

後援会会報

RISSHO UNIVERSITY RUGBY FOOTBALL CLUB

VOL.
18
令和3年8月発行



立正大学ラグビー部
後援会会長
後藤素彦

後藤素彦

令和3年度より、大久保和政会長の後任として後援会会長に就任いたしました後藤素彦と申します。日頃から後援会へのご理解と諸事業に對してのご協力を感謝申し上げます。引き続き、どうぞよろしくお願い申し上げます。

昨年3月からコロナ禍に翻弄され続け、いつまで続くのか、収束後の先行きも見通せない中、ニューノーマルや新しい生活様式などと言われるように私たちが取り巻く状況は激変しました。特にコンタクトプレーを必須とするラグビーですから、コロナ収束まではプレーもできず、チームでの練習もできな



立正大学ラグビー部 部長
清水海隆

清水海隆

立正大学ラグビー部部長に任命されました清水海隆でございます。ラグビー部は、部長と宮崎善幸副部長の2名体制の下、現場スタッフとの連携により、部員の大学生活全般の支援を行っています。後援会の皆様には、日頃より本学ラグビー部に対し、多大なるご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

本年はオリンピックが日本で開催され、本会報をお手にする頃には、ラグビー部現役女子部

のではないかと不安視しておりました。しかしながら、ラグビーワールドカップの勢いそのままに熊谷もラグビー界も依然として盛り上がりを見せ、特にラグビートップリーグファイナルにて見事に優勝を果たしたパナソニックワイルドナイツの雄姿には本当に感動しました。いよいよ本年、その日本一のチームが熊谷に拠点を移し、チャンピオンラグと共に大きな誇りを携えて選手が熊谷に来てくれるのが本当に楽しみです。私は社会人になるまでラグビーとは無縁の人生でしたが、熊谷に居住し会社を営み、まっすぐにラグビータウン熊谷を如何にして盛り上げるか、まちの活性化に繋げるかと考えるうちに、地元立正大学ラグビー部の活躍、躍進が不可欠と見え、応援しています。私の会長就任とともに運営委員も若手のメンバーにて構成し、後援会の会員増強にも取り組みます。この数年、男子1部リーグへの壁は高く、何度となく悔し涙を流してきたわけですが、1部昇格に向けて絶大なバックアップをしております。また、女子はリオに続き東京でもオリンピックを輩出することができ、強化クラブにもなつたわけですので後援会としてもしっかりと盛り上げてまいります。

コロナ禍において、会員の皆様にグラウンドにお越しいただき選手に直接エールを送っていただくことは難しいと思いましたが、チームの躍進に向けて大きな声援をお送りいただきますようお願い申し上げます。

さて、一昨年来のコロナウイルス感染症の流行は、日々の授業はもちろん、部員の日頃の生活、練習、そして対外試合にも多大な影響を与えております。オンライン授業への対応だけでなく、部員は合宿所からの外出も制限され、集団でのトレーニングのあり方、さらに練習試合の減少など、目的意識を維持することが困難な状況に置かれていました。そのような中で監督・コーチ陣の工夫と努力により、チーム・各人のレベルの維持はもちろん、男子においては今シーズンの開幕に向けて、悲願の1部復帰を現実すべく、夏の合宿を実施し、レベルアップを図っております。

また、女子においても、7月の第8回立正大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会で2位という成績をおさめ、大学女子セブンスの中核を維持しております。感染症流行の先行きは、不透明さをぬぐえませんが、学生ラグビーの健全な継承のために、今後とも本学ラグビー部の活動に一層のご支援・ご協力をいただきますよう、重ねてお願い申し上げます。

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。



立正大学ラグビー部 監督
堀越正己

堀越正己

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。

日頃より立正大学ラグビー部の多大なるご支援を賜り心より感謝とお礼申し上げます。新型コロナウイルスの感染拡大が続く中でも、部員たちは環境に言い訳せず、ラグビーが出来ることに感謝の気持ちを持ち、活動を継続してまいりました。その結果、太陽生命ウィメンズシリーズでは、初出場も含め6名の部員が中心選手として試合出場を果たし、大学7人制交流大会では惜しくも結果は準優勝でしたが、準備期間の短い中でも現段階での持てる力を全て発揮してくれました。また、東京オリンピック女子7人制スコッドにも部員1名が選出されております。コロナ禍の中、部員が日々成長できておりますのも、皆様からのご支援をはじめ、私たちが支えてくださっている全ての皆様の応援のおかげだと思っております。このような状況の中でも、感謝の気持ちを忘れず、今自分ができることに集中し、チームとして成長して行ければと考えております。今後とも、皆様から変わらぬご支援・ご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。



立正大学ラグビー部女子
ヘッドコーチ
小松大祐

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。



立正大学ラグビー部
男子主将
五十嵐拓星

五十嵐拓星

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。



立正大学ラグビー部
女子主将
宇都宮優海

宇都宮優海

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。

いつも立正大学ラグビー部を応援いただきありがとうございます。今年も新型コロナウイルスの影響により昨年同様、厳しい状況が続いておりますが、一人一人が高い意識を持ち、日々活動を続けております。今年の春シーズンは、私たちより格上の相手と試合を行う機会が多く、現在のチームの立ち位置、1部との力の差、チームの課題が明確になった春シーズンでした。この課題を残りの時間で修正し、これから向かえるシーズンに向け、さらにチーム力を高めていけるよう、部員全員で取り組んでいきます。そして、目標である1部昇格を達成できるよう一戦一戦、戦ってまいります。これからも、立正大学ラグビー部の応援よろしくお祈りいたします。

令和2年度 立正大学ラグビー部後援会決算報告

令和2年4月1日から令和3年3月31日まで

科目	予算額	決算額	増減	摘要
前年度繰越金	214,966	214,966	0	
年会費	2,280,000	1,802,000	△478,000	個人会員 217件 743,000 法人会員 98件 1,059,000
総会・激励会参加費	410,000	0	△410,000	
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	0	△50,000	
合計	3,154,666	2,216,966	△938,000	

科目	予算額	決算額	増減	摘要
補助費	1,500,000	1,500,000	0	ラグビー部への補助
事業費	740,000	0	△74,000	
会報等発行費	200,000	137,940	△62,060	会報vol.17(137,940)
事務費	150,000	79,443	△70,557	郵送料
会費振込手数料	25,000	32,843	7,843	
予備費	539,966	0	△539,966	
合計	3,154,966	1,750,226	△1,404,740	

収入	支出	差引残高(次年度繰越金)	摘要
2,216,966	1,750,226	466,740	

令和3年度 立正大学ラグビー部後援会予算

令和3年4月1日から令和4年3月31日

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
前年度繰越金	466,740	214,966	251,774	
年会費	2,100,000	2,280,000	△180,000	個人会員 (800,000) 法人会員 (1,300,000)
総会・激励会参加費	410,000	410,000	0	第2回運営委員会:(20名×@3,000) 60,000 激励会:(45名×@5,000) 225,000 合宿激励ツアー:(25名×@5,000) 125,000
大学より協力費	200,000	200,000	0	
雑収入	50,000	50,000	0	激励会表賀
合計	3,226,740	3,154,966	71,774	

科目	本年度予算	前年度予算	増減	摘要
補助費	1,300,000	1,500,000	△200,000	ラグビー部への補助
事業費	740,000	740,000	0	第2回運営委員会 90,000 合宿激励ツアー 200,000 激励会 350,000 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援 100,000
会報等発行費	200,000	200,000	0	会報・封筒等印刷代
事務費	150,000	150,000	0	通信費、事務用品購入等
会費振込手数料	35,000	25,000	10,000	郵便振込
予備費	810,740	539,966	261,774	
合計	3,226,740	3,145,966	71,774	

令和2年度 立正大学ラグビー部後援会事業報告

1. 後援会会員数

個人会員	217件(令和元年度 228件)
法人会員	98件(令和元年度 106件)

2. 後援会各種行事

令和2年	
5月25日(月)	第1回運営委員会開催(総会に向けて) ※書面審議
6月29日(月)	役員会・総会 ※書面決議
10月27日(火)	会員証・会報発行
11月1日(日)	2部Bブロック ○122-0 公式戦応援(対 朝鮮大学校)
11月8日(日)	2部Bブロック ○65-31 公式戦応援(対 國學院大学)
11月22日(日)	2部Bブロック ●29-33 公式戦応援(対 東洋大学)
11月29日(日)	2部順位決定戦 ○48-31 公式戦応援(対 白鷗大学) 確定順位:3位

令和3年度 立正大学ラグビー部後援会事業計画

1. ラグビー部への補助
2. リーグ戦等試合の応援
3. 合宿激励ツアー・激励会の開催
4. 地域におけるラグビーの普及推進
5. 大学女子7人制ラグビーフットボール交流大会への支援
6. 後援会会報の発行
7. 新規会員の増強
8. その他

FROM COACHES

目標に向かって日々厳しい練習に取り組む選手達。彼らにとって最も身近な存在である男女2名のコーチをご紹介します。



立正大学ラグビー部男子コーチ

名前: 菊池 克将
出身地: 埼玉県
出身校・チーム: 埼玉県立伊奈学園総合高等学校⇒立正大学

後援会の皆様には、いつもご支援をいただき感謝しております。今年のチームは、五十嵐キャプテンを多数のリーダーが支え、組織的なチーム作りを目指しております。チームスローガンである『主体性』を各選手が意識し続け、毎日の規則正しい生活、そして練習に励んでおります。全勝で入替戦に出場し、勝利する姿を後援会の皆様に見ていただけるよう、選手、スタッフ一同で精一杯取り組んでまいります。変わらぬご支援、ご声援を何卒宜しくお願い致します。



立正大学ラグビー部女子コーチ

名前: 三樹 加奈
出身地: 宮城県
出身校・チーム: 宮城県立高鍋農業高等学校⇒立正大学

日頃より立正大学ラグビー部への多大なるご支援を賜り心より感謝申し上げます。立正大学ラグビー部女子アシスタントコーチとして選手へのサポートはもちろん、皆様に喜んでいただける結果に繋がるよう務めさせていただきます。今後とも多大なるご声援よろしくお願い申し上げます。

令和3年度新入部員

今年も18名の精鋭が、立正大学ラグビー部の門を叩きました。応援、宜しくお願いいたします！

ポジション	名前	出身校	ポジション	名前	出身校	ポジション	名前	出身校
男子			男子			男子		
PR	光永 圭吾	大阪桐蔭	NO8	ウイリツツ・17ン	パルジムジウム	FB	大野 和馬	仙台育英学園
	帆刈 大河	北越	SH	越戸 駿	熊本西		武田 凱	巻
HO	竹林 雅貴	京都工学院		羽根田 大空	日本体育大学桂原	ポジション 名前 出身校		
	中森 樹生	御所実業	SO	浮田 祐一	興国	女子		
LO	八木 崇太	日本航空石川	WTB	合屋 太智	石見智翠館	SH	長瀬 拓美	京都成章
	富野 泰空	秋田工業		橋本 敬太	東京	PR	糸満 みや	筑波大学
FL	三浦 類	仙台育英学園	CTB	高山 瑛介	御所実業			

令和3年度関東大学リーグ戦 2部 公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月18日(土)	15:00	vs 拓殖大学	拓殖大学G
9月26日(日)	15:00	vs 國學院大学	立正大学G
10月10日(日)	13:00	vs 国士館大学	立正大学G
10月17日(日)	13:00	vs 朝鮮大学校	立正大学G
10月31日(日)	13:00	vs 山梨学院大学	山梨学院大学G
11月14日(日)	13:00	vs 東洋大学	東洋大学G
11月28日(日)	13:00	vs 白鷗大学	立正大学G

※試合会場、日程は変更になる可能性があります。 ※全試合無観客試合での開催となりますので、予めご了承ください。

令和3年度ジュニア選手権 カテゴリー3公式戦日程

日時	開始時間	対戦相手	試合会場
9月12日(日)	15:00	vs 東洋大学	立正大学G
10月3日(日)	13:00	vs 中央大学	中央大学G
10月16日(土)	14:00	vs 関東学院大学	立正大学G
10月23日(土)	13:00	vs 大東文化大学	立正大学G

※試合会場、日程は変更になる可能性があります。 ※全試合無観客試合での開催となりますので、予めご了承ください。

今シーズンを雪辱を!

春シーズンは、2月からS&Cトレーニング、5月からの練習試合を経て、チームの強化に励みました。関東学院大学、中央大学といった1部リーグのチームにチャレンジする機会もあり、課題と成果を得ることができました。秋のリーグ戦に向けて、今一度体づくりに重点を置き、どんな相手にも圧倒できるフィジカルを目指し、日々の練習に取り組んでおります。今シーズンこそ雪辱を果たし、2部優勝、さらに入替戦に勝利し、念願の1部リーグ復帰に向け、チーム一同一生懸命取り組んでいきます。皆様のご支援、ご声援宜しくお願いいたします。



女子15人制は12月に交流戦

7人制については、5月6月の太陽生命ウイメンズセブンズシリーズ、7月の大学女子交流大会を目標に身体づくりに主にトレーニングに取り組んでまいりました。太陽生命ウイメンズセブンズシリーズは社会人選手と参加し5位、大学女子交流大会は大学生単独で挑戦し準優勝という結果でした。例年通りの活動ができない状況ではありましたが、全員が一つの目標に向かって努力してきました。15人制については12月より国内の公式戦が予定されており、立正大学を中心にメンバーを編成し大会に挑みます。皆様からのご支援、ご声援宜しくお願いいたします。

立正大学ラグビー部後援会 Facebookのフォローをお願いします!

令和2年度より立正大学ラグビー部後援会Facebook開設し、公式戦情報を中心にアップしています。QRコードよりアクセスの上、ご確認下さい。皆さまのページフォローをよろしくお願い致します!

